

表2 補償実施計画のための評価案

補償手法	実施場所	実施時期	必要要件	補償回数			安全性			補償基準や補償者主体抽出にかかる努力			必要手続きや課題などから判断する補償実施の実現性							
				1日当たり 設置数 工数	実施日数	補償回数	総合評価	クマによる啃食	クマの踏踏損傷	転倒使用	総合評価	導入コスト (設置基礎・使用丁度、 見込み費見込額等)	撤出困難度	撤出費用	総合評価	手続等(補償業者 登録以外)	課題	入会での実績	総合評価	
足くぐりわな	ドライブウェイ沿い	4~8月	・30回線電線と自動機がマ ラ、網絡線が死が可能な体 ・歩道から安全な距離の確 保。	低	多	高	5	有	有	無	無	2	低	6	低	5	有	4.5		
首くぐりわな	堂島山周辺	4~8月	・30回線電線と自動機がマ ラ、歩道から安全な距離の確 保。	中~多	少~中	(低~中)	2	有	限りなく無	無	無	4	低	6	低	4.5	・管理料面区域外で あれば、実施地域に 対して従業者の交 渉が必要。	・捕獲場所や時期など、林野庁と の連携。 ・クマ遺尿に対する従業者の安全 対策。	3	
面いわな	牛石高原	4~8月	・30回線電線と自動機がマ ラ、歩道から安全な距離の確 保。 ・ICの埋込30回線電線。	低	少	低	1	可能性有	無	無	無	4.5	中~高	2	低~中	3.5	有	5		
大型囲いわな	三津河原山	4~8月	・30回線電線と自動機がマ ラ、歩道から安全な距離の確 保。	少	中~多	(低~中)	2	可能性有	無	無	無	4.5	高	1	中	2	無	2.5		
モバイルカメラ	ドライブウェイ沿い	4月、12月	・設置、及び設置作業がで きる距離。 ・実施エリアに必要十分な カメラの設置。 ・カメラの電源(バッテリー、 トランプ等で安全確保)。	高	少~中	低~中	2	無	無	有	有	3	低~中	4	中	5	・道路から撮影する ための、公安委員会 からの許可。	・大型囲いわなの設置の場合資料 購入方法。 ・既存の防犯カメラ活用する場合、 実装可能か、また、セルフロック ・タッチパネルなどの活用が可能か。 ・撤出ルート確保。	有	4
巻き釣り	三津河原山	8月	・設置、及び設置作業がで きる距離。 ・実施エリアに必要十分な いよひの設置。 ・餌の準備(バス、 トランプ等で安全確保)。	高	中	(低)	1	無	無	有	有	3	中	3	中~高	2	・管理料面区域外で あれば、実施地域に 対して従業者の交 渉が必要。 ・撤出ルート確保	・実施エリアによって、撤出方法、 団体処理方法の検討。 ・緊急対策区域外で捕獲する場合 の連携。 ・閉山中に撤出を使用することへ の安全確保。 ・従業者の選定。	閉山期に有	2
熊鈴鈴鈴ら伏せ網	東大台、西 三津河原山	4~8月	・熊鈴鈴鈴(熊鈴)。 ・熊鈴鈴鈴(熊鈴)。	少	中~多	(低)	1	無	無	有(熊鈴鈴)	有(熊鈴鈴)	4	中	3	低~中	4	・閉山中に熊鈴鈴鈴を使用すること への安全確保。 ・(熊鈴鈴鈴)を要するものであれ ば、以下必要。 ・特定計画に後継計画を実施する 旨が記載してある。 ・事前協議を実施できる認定事業 ・指定管理員が補償実施計画の (策定。)	有	4	
熊鈴鈴鈴し網	ドライブウェイ沿い	4~8月	・熊鈴鈴鈴し網。 ・熊鈴鈴鈴し網。	少	中~多	(低)	1	無	無	有(熊鈴鈴)	有(熊鈴鈴)	4	中	3	低	5	・閉山中に熊鈴鈴鈴を使用すること への安全確保。 ・(熊鈴鈴鈴)を要するものであれ ば、以下必要。 ・特定計画に後継計画を実施する 旨が記載してある。 ・事前協議を実施できる認定事業 ・指定管理員が補償実施計画の (策定。)	無	3	

評価基準	0.4以上	20基(丁)	70日程度	50回程度	1000万円程度	1000万円程度	撤出困難	20人日程度
	高(多)	0.4以上	20基(丁)	70日程度	50回程度	1000万円程度	1000万円程度	撤出困難
中	0.25程度	10基(丁)	40日程度	30回程度	100万円程度	100万円程度	撤出の努力が必要	10人日程度
低(少)	0.1以下	撤基(丁)	撤日程度	10回程度	10万円程度	10万円程度	撤出容易	撤日程度

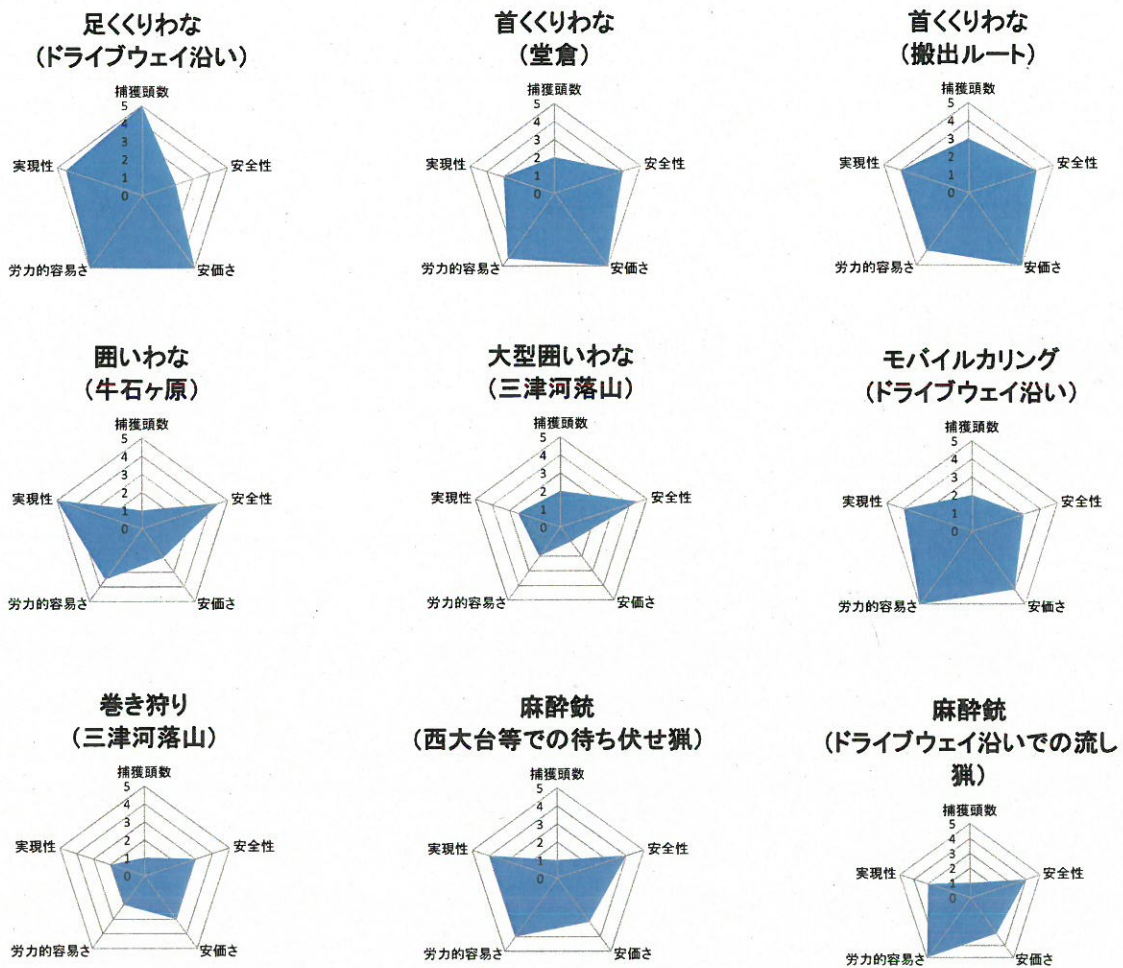


図 14 捕獲実施計画評価案に基づいた各地域での捕獲手法別レーダーチャート

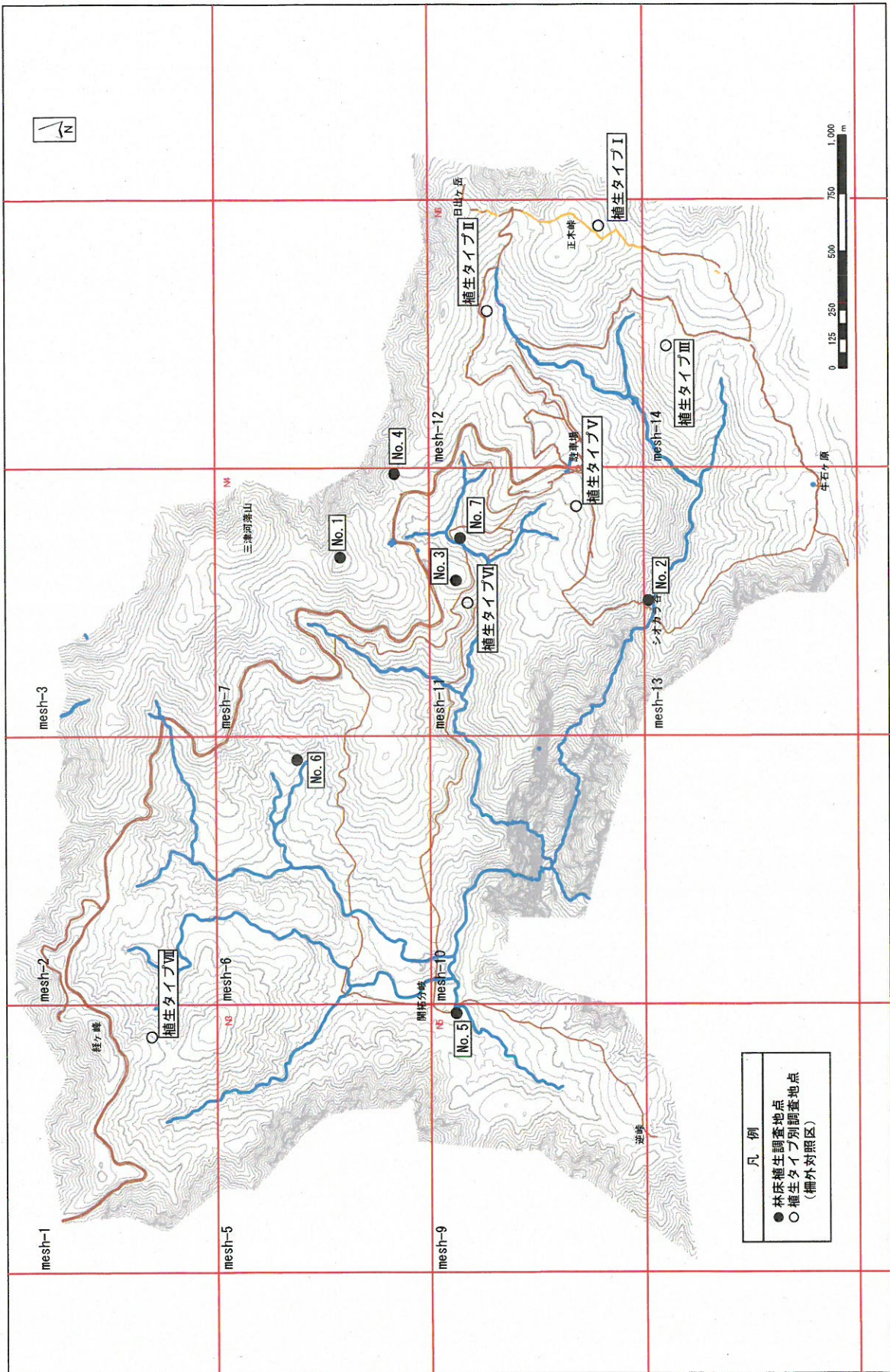


図15 植生モニタリング調査地点

表3 植生タイプとその概要

植生タイプ	相観植生	ササ種類	ササ密度	コケ密度	写真【平成15年(2003年)】
I ミヤコザサ (概要) ミヤコザサが優占する草地。東大台の正木峠から正木ヶ原にかけて広く分布している。トウヒを中心とした亜高山性針葉樹林が退行遷移した場所である。牛石ヶ原等、昭和30年代前半以前からミヤコザサ草地であった場所は含まれない。	ミヤコザサ群落	ミヤコザサ	密	—	
II トウヒ-ミヤコザサ (概要) トウヒ、ウラジロモミを主体とする亜高山性針葉樹林で下層植生はミヤコザサが優占している。東大台に広く分布している。亜高山性針葉樹林が大正時代に伐採された後、天然更新により成立した樹林であると考えられる。	トウヒ群落	ミヤコザサ	密	—	
III トウヒ-コケ疎 (概要) トウヒ、コメツガを主体とする亜高山性針葉樹林で下層植生はミヤコザサが少なく、コケ類は被度が低いが覆っている。東大台の尾鷲辻付近に分布している。亜高山性針葉樹林が大正時代に伐採された後、天然更新により成立した樹林であると考えられる。	トウヒ群落	—	疎	疎	
IV トウヒ-コケ密 (概要) トウヒ、ウラジロモミを主体とする亜高山性針葉樹林で下層植生はコケ類やイトスゲに覆われている。2m以下の後継樹が少なくなっているが、かつて、東大台に広く分布していた亜高山性針葉樹林の姿に近いと考えられる貴重な群落である。中道沿いにあり、面積は少ない。	トウヒ群落	—	疎	密	
V ブナ-ミヤコザサ (概要) ヒノキ、ウラジロモミ等の針葉樹林を混交する太平洋型のブナ林で下層植生はミヤコザサが優占している。ナゴヤ岳、大台教会、牛石ヶ原等の周辺に分布している。	ブナ-ウラジロモミ群落	ミヤコザサ	密	—	
VI ブナ-スズタケ密 (概要) ヒノキ、ウラジロモミ等の針葉樹林を混交する太平洋型のブナ林で下層植生はスズタケが優占している。西大台に広く分布していたが、ニホンジカ等の影響によりスズタケが消失してしまったため、シオカラ谷等急峻な地形の場所に残存している。	ブナ-ウラジロモミ群落	スズタケ	密	—	
VII ブナ-スズタケ疎 (概要) ヒノキ、ウラジロモミ等の針葉樹林を混交する太平洋型のブナ林で下層植生はほとんど見られない。西大台に広く分布している。かつては、スズタケ等の下層植生が見られた。	ブナ-ウラジロモミ群落	スズタケ	疎	—	

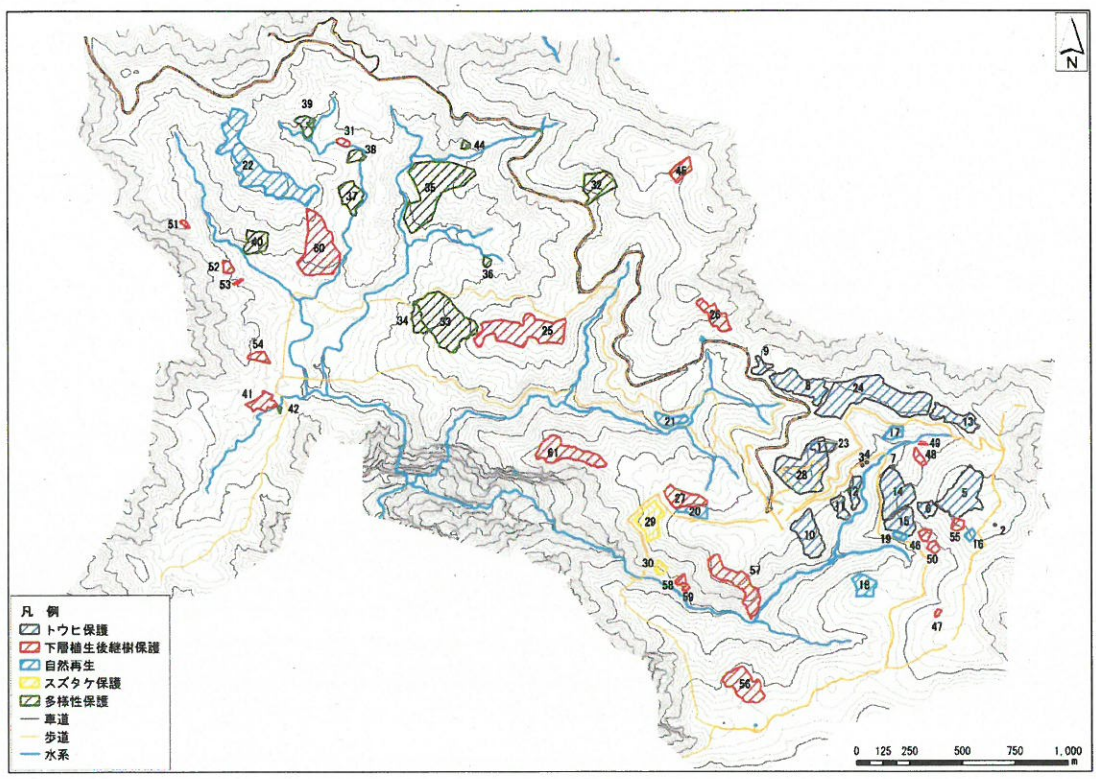


図 16 防鹿柵の設置位置

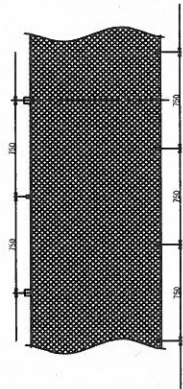
表4 防鹿柵および剥皮防止用ネットの整備状況 (平成28(2016)年まで)

番号	設置年度	目的	面積(ha)	構造種別
1	S62・H3	トウヒ保護	0.30	木柱+金網
2	S62	トウヒ保護	0.01	ポリ柱+ポリネット
3	H11	トウヒ保護	0.01	耐雪用格子柵
4	H11	トウヒ保護	0.01	FRP柱+ステンレス入ネット
5	H12	トウヒ保護	3.08	耐雪用格子柵
6	H12	トウヒ保護(タイプI(ミヤコササ:既設))	0.50	耐雪用格子柵
7	H13	トウヒ保護	0.01	FRP柱+ステンレス入ネット
8	H13	トウヒ保護	2.28	耐雪用格子柵
9	H13	トウヒ保護	0.42	耐雪用格子柵
10	H14	トウヒ保護	1.98	FRP柱+ステンレス入ネット
11	H14	トウヒ保護	0.58	FRP柱+ステンレス入ネット
12	H14	トウヒ保護	0.56	FRP柱+ステンレス入ネット
13	H14	トウヒ保護	1.36	FRP柱+ステンレス入ネット
14	H14	トウヒ保護	2.48	FRP柱+ステンレス入ネット
15	H14	トウヒ保護	1.22	FRP柱+ステンレス入ネット
16	H15	自然再生(タイプI(ミヤコササ))	0.17	FRP柱+ステンレス入ネット
17	H15	自然再生(タイプII(トウヒ-ミヤコササ))	0.43	FRP柱+ステンレス入ネット
18	H15	自然再生(タイプIII(トウヒ-コケ疎))	0.85	FRP柱+ステンレス入ネット
19	H15	自然再生(タイプIV(トウヒ-コケ密))	0.17	FRP柱+ステンレス入ネット
20	H15	自然再生(タイプV(フナ-ミヤコササ))	0.63	FRP柱+ステンレス入ネット
21	H15	自然再生(タイプVI(フナ-スズタケ密))	0.65	FRP柱+ステンレス入ネット
22	H15	自然再生(タイプVII(フナ-スズタケ疎))	7.42	FRP柱+ステンレス入ネット
23	H15	トウヒ保護	0.17	FRP柱+ステンレス入ネット
24	H15	トウヒ保護	5.99	FRP柱+ステンレス入ネット
25	H16	下層植生後継樹保護	4.00	FRP柱、木柱+ステンレス入ネット
26	H17	下層植生後継樹保護	1.02	FRP柱、木柱+ステンレス入ネット
27	H17	下層植生後継樹保護	1.25	FRP柱、木柱+ステンレス入ネット
28	H17	トウヒ保護	4.26	FRP柱、木柱+ステンレス入ネット
29	H18	スズタケ保護	1.57	FRP柱+ステンレス入ネット
30	H18	スズタケ保護	0.15	FRP柱+ステンレス入ネット
31	H18	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.17	FRP柱+ステンレス入ネット
32	H18	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	1.49	FRP柱+ステンレス入ネット
33	H19	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	4.62	FRP柱+ステンレス入ネット
34	H19	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.61	FRP柱+ステンレス入ネット
35	H20	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	5.99	FRP柱+ステンレス入ネット
36	H20	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.16	FRP柱+ステンレス入ネット
37	H21	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	1.13	FRP柱+ステンレス入ネット
38	H21	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.49	FRP柱+ステンレス入ネット
39	H21	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.50	FRP柱+ステンレス入ネット
40	H22	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.95	FRP柱+ステンレス入ネット
41	H24	下層植生後継樹保護	0.64	FRP柱+ステンレス入ネット
42	H24	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.06	FRP柱+ステンレス入ネット
44	H24	多様性保護(希少種、多様な生息環境)	0.14	FRP柱+ステンレス入ネット
45	H23	下層植生後継樹保護	0.84	FRP柱+ステンレス入ネット
46	H23	下層植生後継樹保護	0.26	FRP柱+ステンレス入ネット
47	H23	下層植生後継樹保護	0.08	FRP柱+ステンレス入ネット
48	H25	下層植生後継樹保護	0.31	FRP柱+ステンレス入ネット
49	H25	下層植生後継樹保護	0.03	FRP柱+ステンレス入ネット
50	H25	下層植生後継樹保護	0.26	FRP柱+ステンレス入ネット
51	H24	下層植生後継樹保護	0.10	FRP柱+ステンレス入ネット
52	H24	下層植生後継樹保護	0.32	FRP柱+ステンレス入ネット
53	H24	下層植生後継樹保護	0.06	FRP柱+ステンレス入ネット
54	H24	下層植生後継樹保護	0.41	FRP柱+ステンレス入ネット
55	H25	下層植生後継樹保護	0.28	FRP柱+ステンレス入ネット
56	H25	下層植生後継樹保護	1.86	FRP柱+ステンレス入ネット
57	H26	下層植生後継樹保護	2.22	FRP柱+ステンレス入ネット
58	H26	下層植生後継樹保護	0.16	FRP柱+ステンレス入ネット
59	H25	下層植生後継樹保護	0.05	FRP柱+ステンレス入ネット
60	H27	下層植生後継樹保護	3.78	FRP柱+ステンレス入ネット
61	H28	下層植生後継樹保護	2.23	FRP柱+ステンレス入ネット
		トウヒ保護	25.23	
		自然再生	10.33	
小計		下層植生後継樹保護	20.16	
		スズタケ保護	1.72	
		多様性保護	16.31	
		合計	73.76	

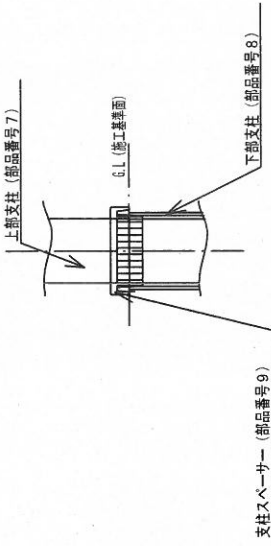
# 防鹿柵構造図 (強化FRP支柱) 尺度 1/20

## スカート部詳細図

※アンカー取付位置図  
アンカー位置関係、柱間と柵先側交互に打ち込み

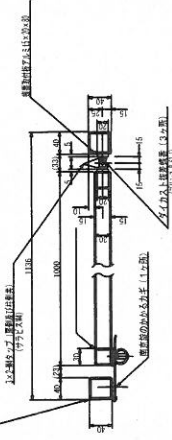


## 支柱スベーサー部拡大図 (縮尺: 1/1)

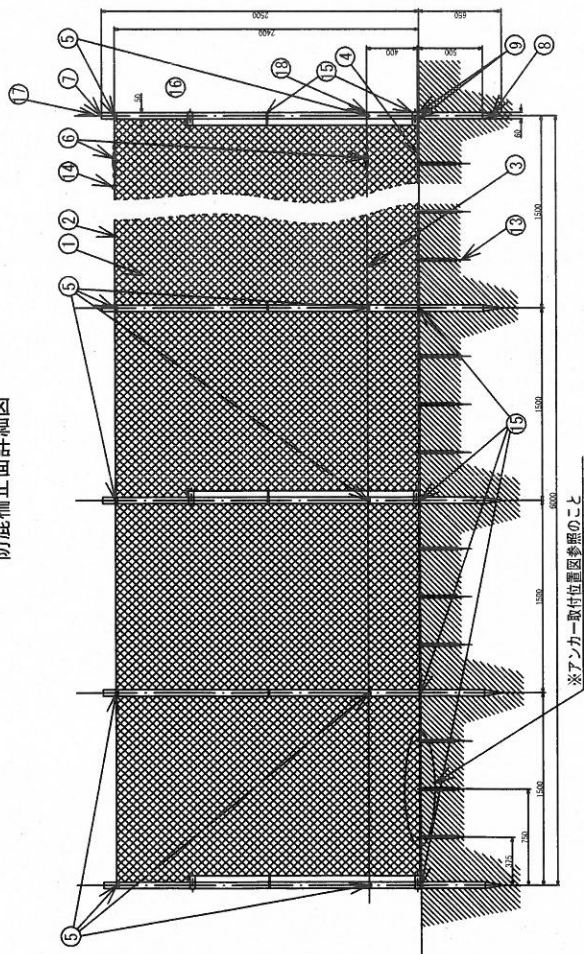


大台ヶ原自然再生施設整備工事製品品表			
番号	品名	規格	単位
1	ラックネット	0.475mm 鉄線スパン 100mm目 10.0m×7.5m	枚
2	上部防鼠板 縦取り中枠	5×19 G-O 1.0(10mm×55mm) (片側付)取付	2
3	下部防鼠板 縦取り中枠	5×19 G-O 1.0(10mm×55mm) (片側付)取付	2
4	支柱スレインロープ	6mm×50mm	2
5	フイーヤー固定具	縦シヤックルボルト (黒色)	154
6	防鼠板	ターワンバリア板 (黒フタ付)	4
7	防鼠板	199角柱 (黒色の防鼠板) 10.0×10.0×1000 (黒色)	47
8	防鼠板	防鼠板付 60×60×4100角スリ2.3H (上防鼠板)	4
9	支柱スベーサー	クセ型	208
10	支柱スレイン	FRP支柱 (黒色) 黒色ABS樹脂 40mm×1200 (黒色) ネット付	34
11	支柱スベーサー	防鼠板付 50×50×4100角スリ2.3H (上防鼠板)	34
12	材料	東洋クランプ 2100×240 (黒色)	48
13	材料	400L (黒色) 1000以上	101
14	材料	鋼線鉄タイプ 4.0mm×75mm	15
15	材料	鋼線鉄タイプ 4.0mm×75mm	15
16	材料	ナイロン 8mm×2100mm (黒色)	154
17	材料	上タイプ ステンレス鋼 (黒色)	6.5
18	材料	下タイプ ステンレス鋼 (黒色)	47

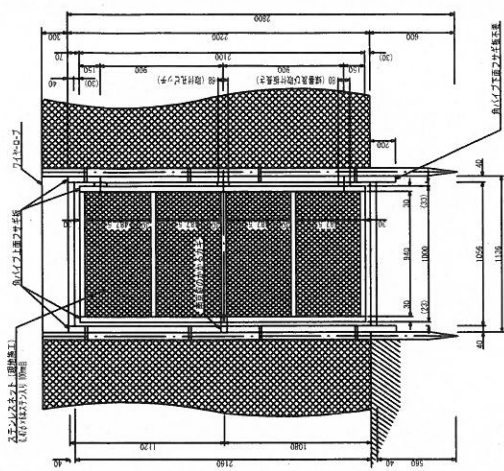
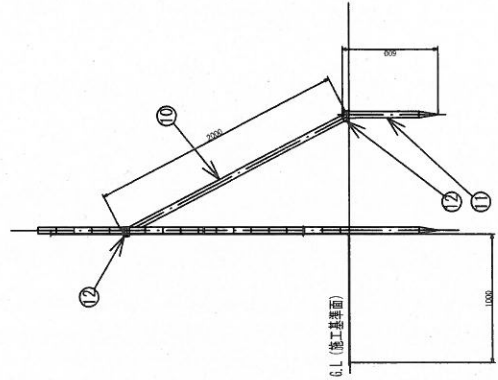
## 出入り口正面詳細図 縮尺 1/20



## 防鹿柵正面詳細図



## 防鹿柵側面詳細図



業務名	平成23年度大台ヶ原自然再生施設整備工事 防鼠柵取付工事
図面名	防鹿柵構造図 (FRP支柱)
縮尺	1/20
設計年月	平成24年1月
設計者	環境省 環境地方環境事務所 国立公園・保安部課



図 17 剥皮防止用ネット巻き付け実施範囲